

学校運営協議会 議事録

|     |            |
|-----|------------|
| 校名  | 府立 守口支援 学校 |
| 校長名 | 佐藤 賢太      |

|           |                                                                                                                       |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時      | 令和 8年 7月 10日（金） 15：30 ～ 17：00                                                                                         |
| 開催場所      | B棟2階 図書室                                                                                                              |
| 学校運営協議会委員 | 長谷川 陽一会長（桃山学院大学教授）間宮 大輔副会長（守口市教育センター長）、森口久子委員（学校医）、盛田 昭一委員（錦コミュニティ協議会会長）、津嵩 貴子委員（門真公共職業安定所統括職業指導官）、木村 陽子委員（PTA副会長、欠席） |
| 本校教職員     | 佐藤校長、古賀教頭、永山教頭、筆保事務長、下田首席、西川首席、竹縄首席、坂上高等部主事、南中学部主事、和田小学部主事、山口健康安全部長、村上進路指導部長、安藤支援教育推進部長                               |
| 傍聴者       | 0名                                                                                                                    |
| 協議資料      | ・令和8年度 学校運営協議会実施要項<br>・令和8年度 学校運営協議会傍聴規則<br>・令和8年度 学校経営計画<br>・各分掌年間活動計画<br>・令和8年度使用教科用図書（選択・採択）一覧表                    |
| 備考        |                                                                                                                       |

議題等(次第順)

- 1、学校長挨拶
- 2、学校運営協議会実施要項について  
学校運営協議会傍聴規則について  
運営協議会委員について  
運営協議会会長選出
- 3、学校運営協議会会長挨拶
- 4、今年度の学校経営計画について
- 5、各分掌から学校経営計画の重点目標等の説明
- 6、各学部の児童生徒の活動の様子について
- 7、大阪教育ゆめ基金について
- 8、今年度の採択教科書について
- 9、質疑応答・意見交換
- 10、今後の学校運営協議会予定について

- 1. 学校長挨拶  
・児童生徒数 234名（昨年度213名）。今年度は中学部の増加が顕著。昨年度同様に教室不足が深刻化していることへの対応状況等の説明。支援学校新校の開校に向けての動向等についての説明。
- 2. 協議事項  
・令和8年度学校運営協議会 実施要項について  
・令和8年度学校運営協議会 傍聴規則について 共に拍手で承認。
- 3. 学校運営協議会会長挨拶  
・鶴見区の保護者からの相談などを受けていて、新校の校区割については身近に感じて実感している。  
・次期学習指導要領の論点整理が昨年あり、まもなく答申が出る。教育課程でも大きな動きが出る。  
子どもたちへの指導・支援が充実し、子どもたちが安心安全で笑顔になる学校づくりに、ともに協力していきたい。
- 4. 学校経営計画について説明  
・キャリア教育：12年間の一貫性のある胸躍る教育活動の推進 二期制導入による教育活動の充実  
・教育力向上：若手教員を育成し、教育力の向上・専門性維持 ICTの充実・デジタル化と従来のアナログのバランス  
・安心安全：大阪府立学校の業務管理・健康確保計画に基づきを追加 衛生管理、防災教育、避難訓練は今後も継続  
学校全体のLED化により校内がより明るくなったことでの環境整備の推進  
・地域連携：センター的機能の充実 北河内支援Labの継続した取り組み
- 5. 各分掌から学校経営計画の重点目標等の説明  
  
・教務部：校務支援システム＝賢者の一部導入 賢者PT・二期制導入後の検証  
・総務情報部：一人一台端末のさらなる活用と個別最適化、さくら連絡網導入準備、ホームページ改善  
・児童生徒指導部：通学バスの運用状況、自転車通学開始  
・進路指導部：事業所見学会、就労選択支援に関する情報発信、高等部現場実習、卒業生アフター支援  
・健康安全部：プール学習について、防災教育、避難訓練の充実  
・支援教育推進部：研究推進部との統合による新体制、校外支援の共有、賢者のマニュアル作成、  
教員育成、授業力・専門性向上への取り組み

6. 各学部の児童生徒の活動の様子について  
学部主事より各学年の行事の様子を画像とともに紹介
- ・ 小学部:運動会、遠足、校外学習の様子。
  - ・ 中学部:運動会、校外学習の様子。
  - ・ 高等部:校外学習、運動会、校内実習、現場実習の様子。

7. 大阪教育ゆめ基金プロジェクト（西川首席）

- 大阪教育ゆめ基金は母校応援ふるさと納税の大阪での活動としての位置づけ。
- さまざまな機会を通して、本校の関係者に周知。
- 本校教職員からの意見募集により、文化芸術鑑賞機会の充実を目的として、大阪教育ゆめ基金を活用した寄附募集を推進。

8. 教科書採択と発信

- ・ 小中高それぞれの発達段階に応じた教科書を採択。
- ・ 教科書の展示と説明を通じて、保護者や関係者への理解促進。

9. 意見交換・質疑応答（要約）

- ①ICT活用の推進と実体験を重視した学習とのハイブリッド型のバランスを大切にしてもらいたい。
- ②アレルギーと痙攣についての新たな点鼻薬について、学校医として知識の普及やアドバイスを推進したい。
- ③支援学校を利用して福祉避難所という考え方が大阪府内で話題になっている。  
地域（保護者）と連携した防災訓練を今後も継続していただきたい。

●次期学習指導要領の論点整理においては、「多様性の包摂」こそが学びの公正公平となるというメッセージが提示されています。また、特別支援学校、特別支援学級等における個の支援の観点から自立活動の在り方も改めて問われていると感じています。については、自立活動における個別の指導計画に基づく指導・支援の具体的な状況について説明してほしい。

（支援教育推進部長）本校では、自立活動の個別の指導計画に基づき、児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズに応じて短期目標・長期目標（3年間）を本人・保護者・学校とともに作成し、指導・支援を行っています。主にコミュニケーション能力の向上や情緒の安定、身体機能の改善、人間関係形成等を目標に設定し、ICT機器や視覚支援、専門家との連携を活用しながら指導・支援を実施している。具体的な一例では、小学部では、6学年通して給食について重点を置き、姿勢やお碗の持ち方や箸の使い方に目標を設定し、評価している。中学部では、体力づくりやルール（規律）について、体力づくりでは、週2回実施している。高等部は、卒業後を見越して、体力づくりや身辺自立、通学方法（自主通学、自転車での通学や実習先への通勤、公共交通機関の利用など）各学部とも、自立活動の時間だけではなく、教科を通して6区分の内容について実施している。また、大阪府の【福祉人材活用事業】でPT・OT・ST・心理士、【医師への相談事業】整形外科の専門家からの指導・助言をいただき、教員が自立活動の授業で目標設定や取り組みを実施している。

●①キャリア教育について

中期的目標の一つとして掲げられているキャリア教育について。教育センターでは、不登校児童生徒の自立支援をキャリア教育の視点から進めており、「自己理解」「共感的人間関係」「課題対応能力」「キャリアプランニング」の4つの観点を基盤としている。例えば、自己理解では自分の得意なことや個性を知ること、人間関係では助け合いや約束を守ることなどを学び、その積み重ねが将来の職業観や進路につながると考えている。守口支援学校の校外学習などの取組も、それぞれの活動でどのような力を育成しているのかを整理・体系化することで、キャリア教育としての一貫性や系統性がより明確になると思う。また、学校内でキャリア教育を中心的に推進する担当や組織についても考えを今後は伺いたい。

（首席）大阪府共通の「指導と評価の年間計画（シラバス）」の様式1・2というものがあり、それに加え本校ではキャリア教育の観点を抑えるための「様式3」を独自で運用している。各授業の学習内容がどのキャリアの観点と結びついているのか一覧化したものであり、それを各授業の年間計画立案時に作成することで全教員が各教科のみではなくキャリアの観点も考慮して支援・指導を行うようにしている。今後も進路指導部を中心に児童生徒を主体としたキャリア教育を推進していけるよう検討を続けていく。

② 多様性・包摂について

運動会を小学部から高等部まで参観し、小学部では児童一人ひとりができることを生かした多様な表現が見られ、大変印象的であった。一方で、中学部・高等部になるにつれて、全員が同じ振り付けや動きを行う場面が多く見受けられた。現在、小・中学校では個別最適な学びや主体的な探究が重視されていることから、自分で考えた表現や異なる動きがあってもよいのではないかと感じた。支援学校では、身体機能や集団活動の目的など様々な配慮があることは理解しているが、小学部で見られた多様性が中学部・高等部でもどのように生かされていくのかについて、今後の考えを伺いたい。

（教頭）

運動会での集団演技（ダンスなど）は、集団行動としての位置づけと捉える部分もあります。貴重なご意見として受け止め、今後の教育活動の参考にさせていただきます。

- 昨年度から21名生徒が増えているという工夫されているということだが、教員の数自体は増えていますか。  
（校長）はい。増えています。

●高等部の自転車通学のルールについて。3つのエリアとその他のルールなどについて教えてほしい。

（児童生徒指導部）京阪電車の線路の沿線を基準に北側（Aエリア）と南側（Bエリア）、学校から半径800m圏内（Cエリア）に分割しています。Aエリアは自宅から最寄り駅もしくは京阪守口市駅まで自転車を利用する。Bエリアは自宅から学校まで直接自転車を使用して登校する。Cエリアは自転車の使用は不可。その他に、ヘルメットの着用と雨天時はレインコートの着用を義務化している。安全に自転車ができる力が備わっているか担任が確認もしている。現在、3名利用を開始している。

拍手をもって学校経営計画ならびに学校図書が承認された。

10. 連絡事項

今後の学校運営協議会の日程 第2回 11月 6日（金）15:30～ （※分掌長は出席しません）  
第3回 2月12日（金）15:30～

次回の会議日程

|    |                        |
|----|------------------------|
| 日時 | 令和 8年11月 6日（金） 15:30 ～ |
| 会場 | 府立守口支援学校 B棟2階 図書室      |